

ふる里の歳時記 (120)

写真と文：厚川 小一（エッセイスト）



寒夕焼の詩

木枯しや叱りすぎたる犬を撫ず 厚川小一

ある。こちらの方が歳末の習わしを感じさせる言葉として季節感を濃く含んでいるように思われる。

もう一つ私が気にしているのは、全国に「鈴木」という姓が多いことである。先述の伊勢の御師の多くは、伊勢神宮のお札を届けるため全国に居を構えさせたのではないかと説いている研究家が早くからおり、それが鈴木家である。現在でもその鈴木総本家跡という大きな屋敷だけが残っており、俳句誌に写真も出ていたが、その場所がどうしても思い出せない。たしか岡山あたりだったと思う。現在では私たちの篠塚では長柄神社、ほかの地区はそれぞれ、の長良神社から伊勢神宮のお札が届けられるようになっていく。

いささかの金欲しがりぬ年の暮れ 村上鬼城

戦前まで続いていたが、日常に使う商品の支払いを「盆暮勘定」としていた。したがって、各商店は通帳を客ごとに作り、商品を先渡しで売っていた。その最後の集金が師走になり、あちこちせわしく走り回ったものである。私も一年間、酒屋の小僧としてこの大みそかに集金をやらせられたが、なかなか全額集金

ができないで帰り、番頭に連れられ再度の交渉に当たり、やっと集金が終わったのは除夜の鐘が鳴る寸前であった。この厳しさを初めて知った私は年期中にもかかわらず、逃げてきてしまったのである。この年は、とにかく寒かったことを今になっても思い出す。家人には寒くて逃げたと言っていた。

大寒・小寒 山から小僧が泣いてきた なんと泣いて泣いて泣いてきた このわらべうたが歌い継がれてきた地方は、岩波文庫「わらべうた」によると、わが群馬も含めて十三県になり、それがなんと全県太平洋側であることは不思議である。

今年、終戦六十五周年に当たる。昭和二十年二月十日、太田および、みくりや町百頭に米空軍B29による爆撃があり、その際墜落した二機の記念展が秋妻公民館で開催された。岩崎治雄さんが保存していた現場写真、戦死した米空軍兵士の家族から送られた写真などが、初めて公開された。爆撃開始から終了まで特設防護団員として警備に当たっていた私の記録「あゝ、2月10日」は、実に六十五年振りに世に出た。その後、足利、百頭、太田と引き続いて記念展が開かれ、ガリ版刷りの私の薄っぺらの記録が、時代を証言するのに役に立つことができた。感無量である。

二十五度を超える真夏日があったばかりだけに異常である。

今夏の新聞紙面に「猛暑」という文字が、登場しなかった日は少ない。そして、まさかと思っていた米の品質低下である。十月二十日現在のデータが発表されたが、米粒が高温で白濁してしまつてJA 邑楽館林の検査で一等米は0%という衝撃的な結果が出ていた十月二十五日付上毛新聞。やはり日本一暑いと、かつてない影響が稲作にも及ぶということを経験した農家は初めてのことである。

まの風景

朝日の中の紅葉 (県緑化センター)



Photo 高根澤高明 (記録ボランティア)

ひとりごと From editors

▼今年も残すところ1か月あまりとなりました。毎月発行する「広報おうら」の編集に携わっていると、月日のたつのがとても早く感じられます。今年は「広報おうら」5月号から紙面のリニューアルを行いましたがいかがだったでしょうか。▼企画課では、広報おうらのほかにホームページによる情報発信も行っています。来年には、ホームページ画面のリニューアルを予定しています。▼現在、画面全体のデザインや、お知らせする内容などを検討中ですので、楽しみにしてください。最近、冷え込みが日増しに強くなってきていますので、体調には、十分気をつけましょう。(多)

広報おうら

ORA TOWN Public Relations

平成22年12月号 No.531

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎ 0276-88-5511 (代表)

☎ 0276-47-5007 (企画課直通)

☎ 0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>E-mail kohoe@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。

携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>